

報告



# 3月例会 「尾長天満宮 鎮守の杜」整備 27日(日曜)

倶楽部 34名(新会員4名含む)、地元 20名(子ども会12名含む)

4班 富田 実

春の日差しを浴びて総勢 54 名が、それぞれの作業に汗し、歴史ある鎮守の杜を守りました！



広島駅新幹線口から徒歩 15 分。二葉山の麓、歴史ある「尾長天満宮・鎮守の杜」での例会。  
朝のミーティングを終え、渡辺宮司によりこの日の作業の安全祈願が行われた。



尾長天満宮の鎮守の杜の整備は、コロナ禍で2年間延期していましたが、倶楽部員、地元の皆さん他、大勢の参加を得て無事に終了。延期になっていた久々の例会に汗を流しました。

開催に先立ち、天満宮の「安全祈願祭」を渡辺宮司に取り計らって頂き、山本理事長を初め、倶楽部代表2名の玉串奉奠を行い全員で安全祈願をしました。

今回の整備計画は、鎮守の杜全体の景観整備を目的とし、4つのグループに分かれて作業を実施しました。

**Aグループ**は、コナラ(40cm~50cm)大径木、支障木の伐採。周辺の支障木処理や対象木が民家に接近しており、チルホール牽引での安全対策を充分に行い、ベテラン倶楽部員7名が作業に当たりました。



**Bグループ**は、猪に荒らされた参道補修

に取り組みました。材の調達に周辺の支障木を伐倒し枕木・杭を作りながら、新人会員3名・地元応援者2名が加わり、2本ある参道を修復完了。歩きやすくなったと二重丸の評価を受けました。

**Cグループ**は、北側の竹藪整備を担当。隣接する学校側に、竹が境界線を越えて倒れ込むなど、藪化して大変な作業で苦戦を強いられました。境界線上の竹を除去し、全面の藪化した笹竹と残す竹を選別しながら整備をすすめました。

**Dグループ**は、石垣上部の景観を損ねている支障木の整備。高い場所での作業になる為、転落防止・安全作業を心掛けながら、萌芽した枝葉や雑木が生い茂ったエリアを整備し、綺麗な景観を取り戻しました。子ども達からは「モット木を切りたい、ここの木を切ってもよいですか？」などと、興味をそそる声が聞かれ頼もしく感じました。

前回開催から2年間で空いたことで雑木の茂り方は半端なく、作業負荷は大きくなり改めて継続した取り組みの大切さを痛感しました。閉会時、新会員からは、『諸先輩から優しくアドバイスをいただいた』『育成講座で習った事が十分発揮できなかった、次回に活かしたい』などの感想がありました。

最後に、天満宮様のご厚意で、美味しいカレー、おむすび、果物、コーヒーまで頂戴でき裏方で調理した下さった皆様へ感謝を申し上げます。ありがとうございました。

この日参加したもりメイト倶楽部女子の面々

また、先輩方の元気な笑顔やお姿を拝見でき嬉しく思うと共に、楽しく集え、学べる例会となるよう努めてまいります。次回も是非ご参加下さい。

